

会 議 名	第1回港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年1月25日（水） 午前9時から午前10時まで
開 催 場 所	港区立郷土歴史館6階会議室
委 員 員	出席者 5名 岩淵委員長、星川副委員長、須賀委員、若林委員、篠崎委員
事 務 局	齊藤図書文化財課長 文化財係 加藤文化財係長、川上主事、伊佐山主事
会 議 次 第	1 開会 2 委員委嘱、委員紹介、委員長選出 3 審議事項 （1）公募要項（案）について （2）第1次及び第2次審査基準（案）について 4 閉会
配 付 資 料	資料1 港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項 一式（案） 資料4 公募要項【様式集】（案） 資料5 業務基準書 一式 資料6 第一次審査選考基準・採点表（案） 資料7 第二次審査選考基準・採点表（案） 添付資料1 施設パンフレット 添付資料2 施設条例、要綱、その他
会議の結果及び主要な発言	
委員長	<p>1 開会 （事務局が席上配布資料の説明）</p> <p>2 委員委嘱、委員紹介、委員長選出</p> <p>3 審議事項 （1）公募要項（案）について （2）第1次及び第2次審査基準（案）について （資料3から7を用いて事務局が説明）</p> <p>今回の選考において特に確認したい事項としては、責任者のリーダーシップ、研修や管理職層の充実、郷土歴史館の設置目的の認識、若い世代の利用者数を増やす取組といった点ということでしょうか。</p>

事務局	<p>職員研修といった本社のバックアップ体制については評価として様式16を加算項目として配点を2倍にしています。施設の管理運営においては、責任者のリーダーシップのみならず、現場でない本社担当職員の協力・補佐等が不可欠であることから、これらの事項について加算する配点としました。</p>
C委員	<p>次へ向けての改善点ということであれば、そこを含めた基準が示されていると思います。また、現状で若年層の来館者が多くないことについて、この2、3年の状況も含めて現状を教えてください。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、コロナ禍においては、年間の来館者は7万～8万人まで落ち込みました。行動制限が緩和されたことに伴い、利用者増に向けて指定管理者ともに努力しており、今年度に開催した特別展等では、今までの動員規模を上回る来館を得ることができ、今年度の来館者数見込みは、10万～11万人程度と推測しています。コロナ禍から回復傾向であり、今後、開館当初の来館者数である13万人程度に近づけられるよう取り組んでいます。</p>
C委員	<p>郷土歴史館の設置時には、学校や地元との関りを重視していたかと思います。開館以降、指定管理も努力していたと思いますが、現状を教えてください。</p>
事務局	<p>地元の商店会が子供にお菓子を配るイベント実施にあたり、場所を提供するとともに、そのイベントの参加者に歴史館の事業のチラシを配布し、相互に連携をしました。</p> <p>さらに、夏に利用者が制作した行燈を池の周囲や館内に並べ、ライトアップし幻想的な空間を創り出す、行燈ナイトを開催し、地元の方をはじめ、本施設に関心をもってもらい来館につながる取組を実施しています。また、本施設は撮影のロケ地として使われることが多く、開館前の早朝や夜間、休館日を利用して映画やドラマ、雑誌の撮影があり、こうした発信により認知度がアップするようで、若年層の来館につながることもありました。</p>
E委員	<p>学校との連携について言えば、みなと科学館も指定管理者制度を導入して管理運営をしていますが、若年層を呼ぶという地域との取組が盛り上がっています。子どもたちに来てもらえるようなプログラムを指定管理者が提案しており、学校で1回来館して好評価であれば、子どもの家族を連れた再度の来館につながります。本施設についてはそういう事業提案につながると良いと考えます。</p>
委員長	<p>質問の文言は事務局に任せますが、ターゲットを意識した具体的な事業提案を得られる質問の仕方を検討願います。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
E委員	<p>みなと科学館と郷土歴史館が連携したことで、若年層の来館に効果がありました。郷土歴史館の展示内容は大人向けであるようにも思いますが、子供の頃から本施設に触れると、より良さが伝わると思います。そのような質問の表現を入れてほしいです。</p>

C委員	高校生から大学生になると博物館からは足が遠のきます。こうした世代の来館促進にどう取り組んでいくのかが大事だと考えます。
委員長	本社と現場をどうつなぐかというのが課題ということであるが、何かご意見があればいただきたいです。
D委員	年度ごとのモニタリングや外部委員による評価等の機会はあるのでしょうか。指定管理者による管理運営に対する区の検証体制を教えてください。運営上の課題があれば、それを公募要項に反映することも考えられると思います。
事務局	区では、指定期間の中間年度に外部評価機関による第三者評価を実施している。本施設についても令和3年度に行っており、この第三者評価において管理者層のリーダーシップや、事務の全体を統括する職員と窓口・アテンドスタッフとのコミュニケーションなど、運営体制やコミュニケーションの向上が求められました。
D委員	第三者評価の結果を共有し、選考に活用した方が良いと考えます。
事務局	第三者報告書と指定管理者の改善報告書は区ホームページで公開しています。各委員にも提供します。
委員長	各委員に提供願います。その他ご意見はありますか。
D委員	管理者層の研修体制や研修内容の項目ですが、管理責任者の経験値を確認するのも1つの手と考えます。これまでの実績を聞き、略歴を記載してもらいます。文化芸術業界で管理者層に対する文化政策を踏まえたリーダーシップ研修などはほとんどないのが現状なので、実現性など難しいものがあります。それよりは、管理責任者の実績を確認した方が確実です。様式16(ウ)に本社機能の体制を加えていますが、もう少し具体的に記載すると、区が求めていることがより理解されると思います。部署の組織図を書かれてしまうと、趣旨と違うと思いますので。
事務局	本施設の管理運営業務への本社の支援の度合いや、本社のバックアップ要員の能力にも課題があることから、管理責任者の要件等を新たに設け、施設長などの経験があるものを配置するよう加えました。施設長の職務実績も入れていただくこととしています。
D委員	施設長としての実績だけで期待する人物が上がってくるのか、少々不安なところがあります。職歴などを聞くことで、単なる施設長経験者なのか、あるいは臨機応変に文化的な拠点を運営していく力があるのかを確認したいです。設問の仕方で、事業者の記載内容が大きく変わってくると思います。
A委員	ハートマネジメントを学んだかどうか等を知ることは難しいので、大学等で学んだ前歴もあった方がいいのではないのでしょうか。

D委員	NPOが応募してくるとしたら、実践の現場でどういうプロジェクトに関わってきたかということも、大きな要素になると思います。
A委員	過去の実績は施設名だけではなく、文化事業を推進した実績があれば、当該事項を書いてもらうということでしょうか。
D委員	そのとおりです。
A委員	応募に際しての様式は重要です。当該施設にどのような課題があるのかが、気になります。例えばこういうケースの場合に御社ではどう対応するかなど、例示があった方が具体的な回答を得られると思います。
委員長	課題の例示を1つ入れておき、具体的な対応の提案を求めることとします。少々難しい整理となりそうですが、可能な範囲で加えることを考えていただきたいです。委員から要望ということで申し添えます。
事務局	検討します。
C委員	これまでの指定期間であったこの5年間にあった要望を共有し、そうした現場の声を選考に反映できたら良いと考えます。
事務局	展示内容については教育委員会で検討し指定管理者に示します。指定管理者には展示の宣伝やイベント等を開催していただくことになります。文化施設を知らない指定管理者の担当者であると、展示内容等と整合性のない企画になり得ます。博物館としての展示や運営の考え方を選考では確認したいと考えます。
C委員	教育委員会の趣旨を理解し、それに沿った管理運営がなされるのか、すり合わせが難しい部分ですが、確認が必要な点ではあります。
委員長	本日の意見に基づいて事務局で調整しますが、公募要項、第一次・第二次審査表について案のとおりでよろしいでしょうか。 (一同了承)
委員長	最終的な文言の調整については、委員長と副委員長一任で進めさせていただきたいと思えます。選考の目安、最低基準となる得点率についてご意見はありますか。
E委員	第一次審査、第二次審査ともにそれぞれ満点の60%ということでしょうか。
委員長	選考の目安は、第一次審査、第二次審査それぞれにおいて満点の60%とします。

事務局	(一同了承)
委員長	4 閉会 以上で、第1回港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会を終了します。

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。